



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2002.9.24 No 26 - 03

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

安全な民間航空を目指すとともに 人権の確保、労働条件の維持向上等を目指し 日乗連第26期は以下の運動方針のもと 精一杯がんばります！ 加盟組合の皆様の更なる御協力をお願いします。

9月17日・18日に開催された日乗連第26期定例総会において第25期総括、決算ならびに第26期運動方針が採択されました。

今期も日航706便事故機長の裁判闘争、企業再編問題、民間航空の軍事利用につながる有事法制問題等々重要な課題が山積していますが、民間航空の安全性の維持・向上と、我々の人権確保・労働条件の向上を目指しがんばりましょう。

第26期運動方針

1. 安全な航空輸送の実現をめざします。
 - (1) 日航706便事故機長の起訴に対し徹底的に闘います。
 - (2) ハイジャックや航空機内における不法・粗暴・迷惑行為を防止する抜本的対策を求めます。
 - (3) 航空事故絶滅をめざし、職場からの運動強化で、安全性向上運動を実現します。
 - (4) 航空安全のために政策活動を一層強化、充実させます。
 - (5) 航空安全を支える観点から、合法的で、合理性のある、また、健康で働き続



けられる、統一的労働条件基準を策定します。

(6) 航空安全の安定的な向上を図れる、健全な乗員計画実現をめざします。

(7) 空の安全を脅かす民間航空の軍事利用に反対し、有事法制については、国際民間航空条約・IFALPA Policy も含め、研究・論議をさらに進め、引き続き取り組みます。

2. 企業再編については、競争至上主義の撤回を求め、航空産業の公益性を守り、経営と行政の健全な発展のための政策を求めます。
3. 航空の安全と発展を妨げる大きな要因となっている、日航経営者の分裂労務政策に反対し、労使関係の正常化を実現する運動を強化します。
4. 事故や異常運航に遭遇した乗員に対する、不当な乗務「停止」措置などの処分に反対し、乗務員としての人権を守るために闘います。
乗員の実名報道など個人情報についても、航空局をはじめ各機関・会社に対し、人権擁護の観点から不当な取扱をさせないよう強く取り組みます。
警察の行き過ぎた捜査に対しては、毅然とした対応で人権を守ります。
5. 組織の近代化をはかり、いっそうの民主的運営を進め、運動と組織の強化を実現します。
 - (1) 日本を代表する乗員組織として、また IFALPA 活動等ますます大きくなる国際的役割を果たすために、活動の規範となる日乗連 POLICY (政策的要求)、組織機構、会則、財政など、組織全体のいっそうの近代化を実現します。
 - (2) 日乗連未加盟の乗員組合 (団体) に、加入、連帯強化を求め、いっそうの組織強化をめざします。
 - (3) 航空連、安全会議など産別組織との効率的運動を実現し、いっそうの連帯を発展させます。
 - (4) 宣伝、学習、広報、情報伝達活動を発展させ、会員 (職場)、国民、利用者、他産業労働者の支持を得られる活動の充実をめざします。
6. 航空機関士の乗務期限制度を撤回させ、すべての航空機関士について、企業の枠を超えて乗務職としての職場確保を求めます。
7. 地域航空、小型機航空の乗員の労働条件向上ならびに権利獲得のための支援をいっそう強化します。